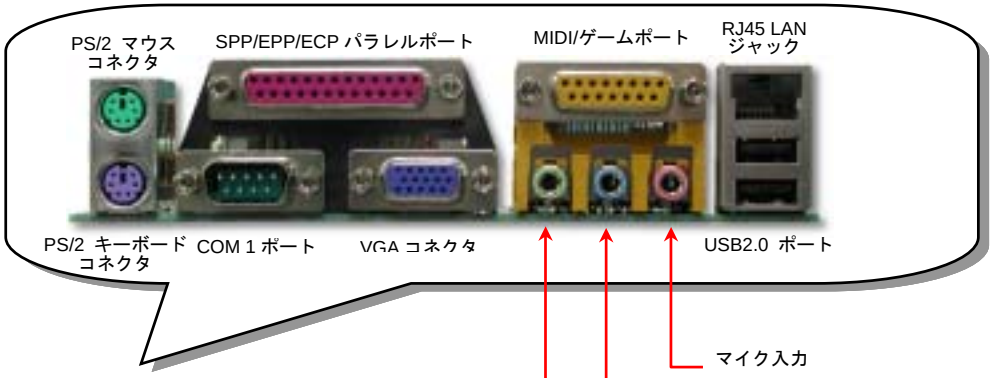
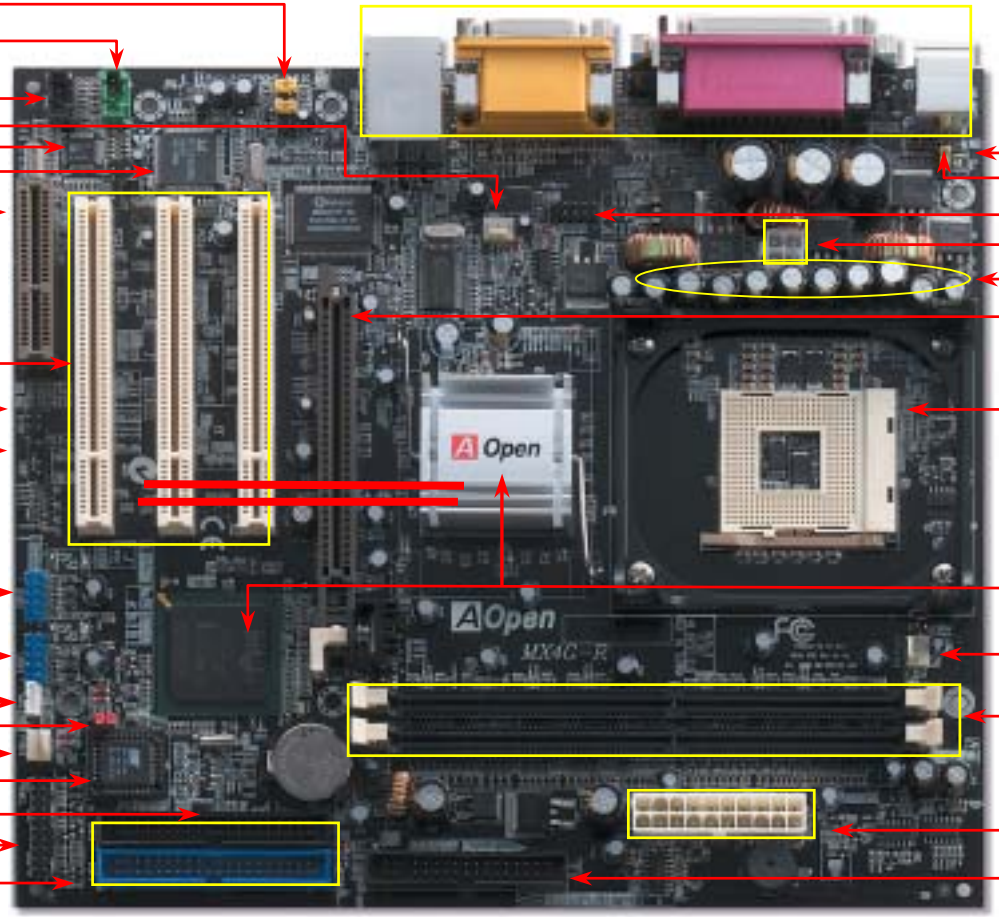
AOpen Component Solutions

MX4GR

イージーインストールガイド





フロントオーディオコネクタ
AUX 入力コネクタ
CD 入力コネクタ
FAN2 コネクタ
AC'97 CODEC
PCI LAN コントローラ
CNR コネクタ
Intel PRO/100 VE (TP)のみをサポート
32 ビット PCI V2.2 拡張スロット 3 本
IrDA コネクタ
WOM(ウェイクオンモデム) コネクタ
第二 USB2.0 コネクタ
第三 USB2.0 コネクタ
WOL (ウェイクオン LAN)コネクタ
JP14 の CMOS クリアジャンパー
FAN3 コネクタ
フラッシュ ROM
ケース開放センサーコネクタ
フロントパネルコネクタ
ATA/33/66/100 IDE コネクタ 2 個

リセット可能なヒューズ
JP28 のマウス/キーボードウェイクアップ設定ジャンパー
COM2 コネクタ
4 ピン ATX-12V 電源コネクタ
低 ESR コンデンサー
AGP 4x 出力拡張スロット
(1.5V はサポートされている)
478 ピン CPU ソケット(Willamette/Northwood 対応)、電圧及びクロック自動検出機能付き、Intel® Pentium® 4 CPU をサポート
Intel 845G チップセット
CPU FAN コネクタ
184 ピン DIMM ソケット 2 本、DDR266 をサポート、最大 2 GB まで搭載可能 (CPUFSB400 は DDR333 をサポートしておりません。)
ATX 電源コネクタ
FDD コネクタ

予告なく仕様変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

インストールの準備

このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な情報についてはオンラインユーザーズマニュアルか Bonus Pack CD ディスクに付属しています。地球保護へのご協力に感謝いたします。

付属品のチェックリスト

- ✔ ***マザーボード 1 枚***
- ✔ ***当イージーインストールガイド 1 部***
- ✔ ***80 芯線 IDE ケーブル 1 本***
- ✔ ***フロッピーディスクドライブケーブル 1 本***
- ✔ ***Bonus Pack CD ディスク 1 枚***
- ✔ ***IO シールド 1 枚***

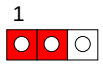
PART NO: 49.89Y10.E11　　DOC. NO: MX4LR-EG-J0203A

1. JP14 による CMOS クリア

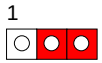
CMOS をクリアする事でシステムの初期値設定に戻ることができます。CMOS のクリア手順は下記の通りです。

1. システムの電源を切り、AC パワーコードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを取り外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差し戻します。

1 番ピン



正常動作の場合
(初期値)



CMOS クリア
の場合

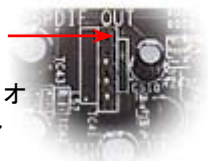
ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?

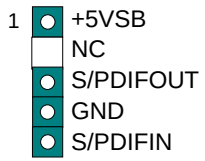
1. *オーバークロック時の起動失敗…*
2. *パスワードを忘れた…*
3. *トラブルシューティング…*

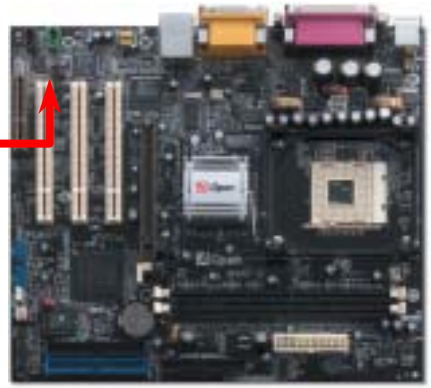
2. S/PDIF (Sony/Philips デジタルインターフェース)コネクタ

S/PDIF (Sony/Philips デジタルインタフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。図示されているように S/PDIF 出力は 2 つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。専用オーディオケーブルにより、S/PDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。ただし、S/PDIF デジタル出力の長所を最大限活かすにはモジュールの S/PDIF 出力を S/PDIF デジタル入力対応スピーカーに接続する必要があります。

(オプション)

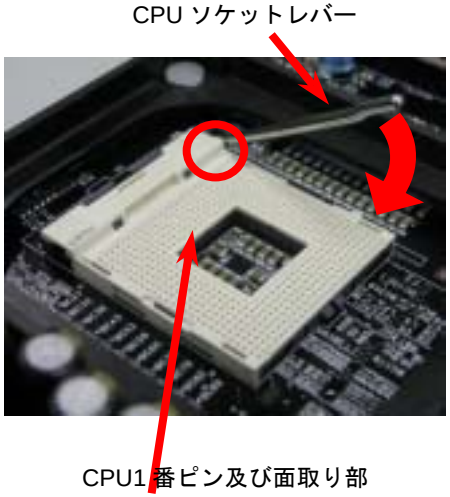






3. プロセッサのインストール

このソケットはインテルが開発した最新 CPU パッケージである FC-PGA2 をサポートしていますので、他のパッケージの CPU を装着することは不可能です。

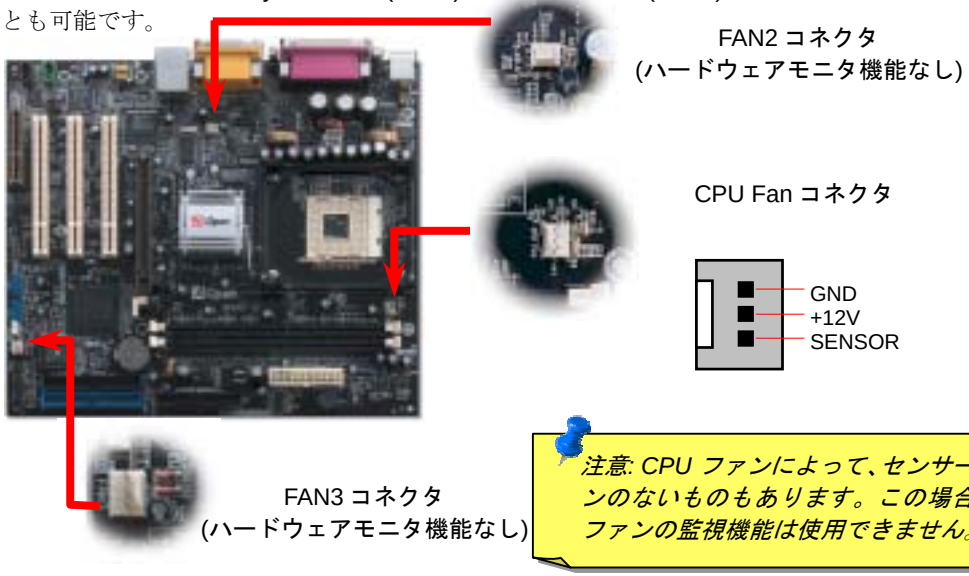


1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置及び CPU 上部の金色の面取り部を確かめてください。1 番ピン及び面取り部を合わせて、CPU をソケットに差し込みます。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻しますと、CPU のインストールは完了です。

注意：CPU ソケットの1番ピンとCPU の面取り部を合わてインストールしないと、CPUに損傷を与える可能性があります。

4. CPU 及びシステムファンのインストール

CPU ファンのケーブルは 3 ピンの CPUFAN コネクタに差し込みます。筐体ファンを使用される場合は、ケーブルを System FAN(FAN2)または AUX FAN(FAN3)コネクタに差し込むことも可能です。



注意: CPU ファンによって、センサーピンのないものもあります。この場合、ファンの監視機能は使用できません。

5. CPU 電圧及びクロックの設定

CPU コア電圧の設定

このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧が自動検出されます。

CPU クロックの設定

このマザーボードは CPU ジャンパーレス設計で、CPU クロックは BIOS セットアップから設定できますので、ジャンパースイッチ類は不要です。初期値の設定は"table select mode"であり、"CPU Host/SDRAM/PCI Clock"の項目より FSB を調整することでオーバークロックができます。

BIOS セットアップ > クロック/電圧コントロール > CPU スピード設定

CPU レシオ	10x… 21x, 22x, 23x, 24x
CPU FSB (BIOS一覧表より)	100~248MHz

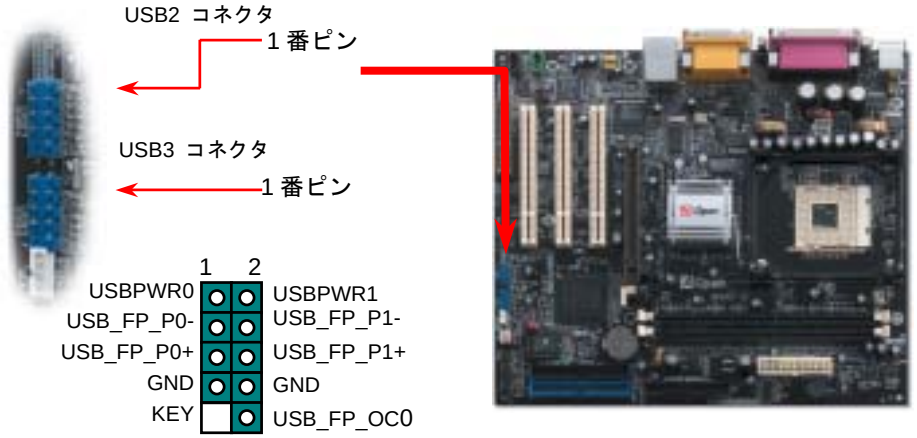
Northwood CPU	CPU Core Frequency	FSB Clock	System Bus	Ratio
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	133MHz	533MHz	12x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	133MHz	533MHz	13x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x
Pentium 4 2.2G	2200MHz	100MHz	400MHz	22x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	100MHz	400MHz	24x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	133MHz	533MHz	18x
Willamette CPU	**CPU Core Frequency**	**FSB Clock**	**System Bus**	**Ratio**
Pentium 4 1.5G	1500MHz	100MHz	400MHz	15x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 1.9G	1900MHz	100MHz	400MHz	19x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x

*警告: Intel® 845 G チップセットは, 最大 400/533MHz(100/133 MHz*4) FSB 及び 66MHz AGP クロックをサポートしています。それより高いクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります*

注意：最新プロセッサの Northwood は自動的にクロックレシオを検出してくれますので、BIOSからクロックレシオを手動調整することはできないかもしれません。

6. 6 個の USB2.0 コネクタをサポート

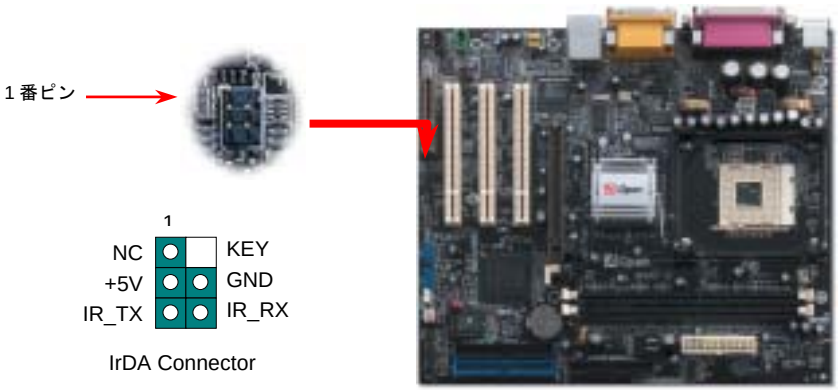
このマザーボードはマウス、キーボード、モデムやプリンター等のUSBデバイスを接続するのに、USB コネクタを六個提供しています。二個はPC99バックパネルにあります。適切なケーブルで他の二個のコネクタをケースのバックパネルやフロントパネルに接続することが可能です。



7. IrDA コネクタの接続

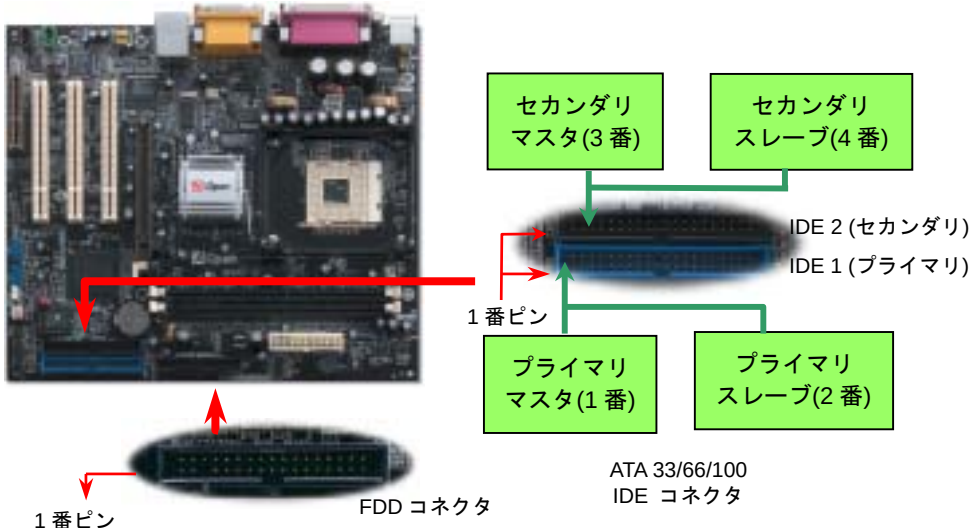
IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 Direct Cable Connection 等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。

このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内)および ASK-IR (56Kbps)をサポートします。IrDA コネクタに赤外線モジュールを差し込んで、BIOS セットアップの UART モードで正しく設定してください。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。

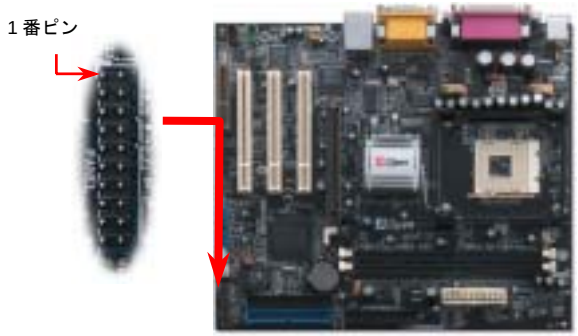


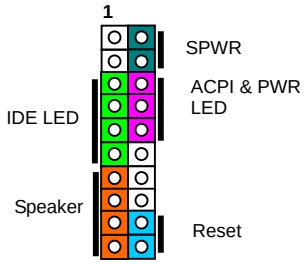
8. IDE 及びフロッピーケーブルの接続

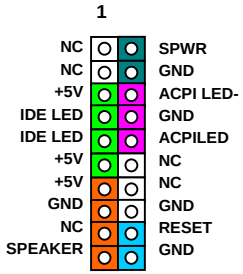
34 ピンフロッピーケーブル及び 40 ピン 80 芯線 IDE ケーブルをそれぞれフロッピーコネクタ FDD 及び IDE コネクタに接続してください。1 番ピンの向きにご注意ください。間違えますとシステムに支障を来たす恐れがあります。



9. フロントパネルケーブルの接続





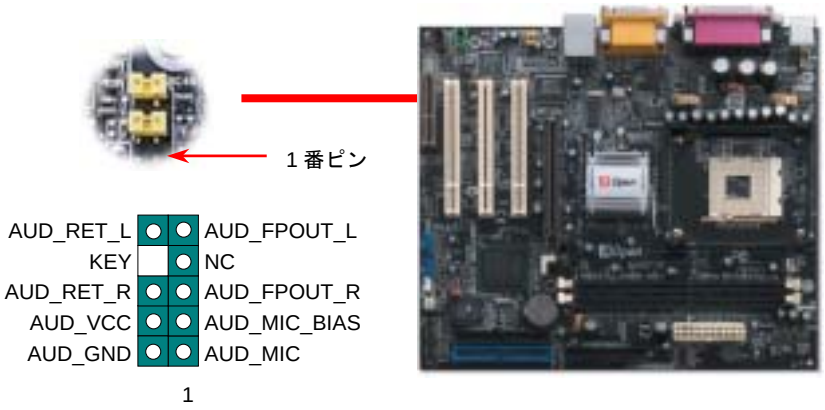


電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差してください。BIOS セットアップで “Suspend Mode” の項目をオンにした場合は、ACPI 及び電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX 筐体における電源スイッチのケーブルを確認してください。これはフロントパネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続してください。

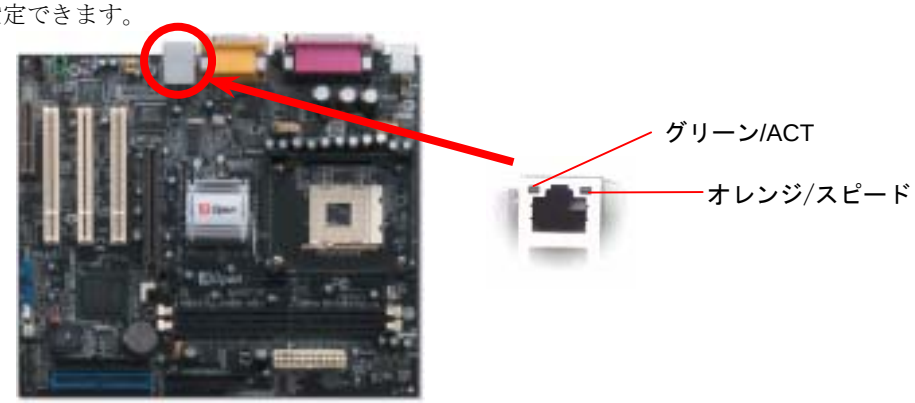
10. フロントオーディオコネクタ

ケースのフロントパネルにオーディオポートが設定されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタから 5、6、9、10 番のジャンパーキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は 5、6、9、10 番の黄色いキャップを外さないでください。

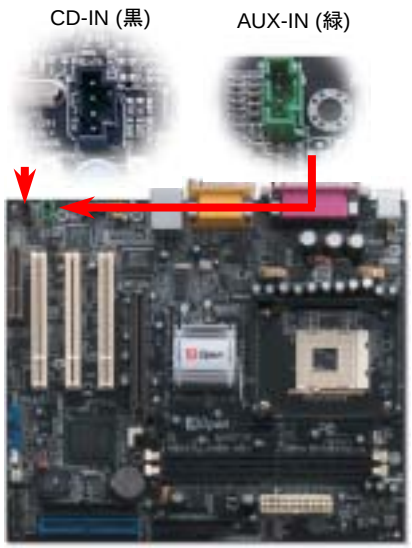


11. オンボードの 10/100 Mbps LAN 機能

オンボードで搭載された Realtek RTL8100 LAN コントローラは高度に統合されたプラットフォーム LAN 接続デバイスですので、オフィスや家庭用 10/100M bps イーサネットを提供しています。イーサネット RJ45 コネクタは USB コネクタの上にあります。緑の LED はリンクモードを表示します。ネットワークにリンクしている場合に点灯しますが、データを転送している場合に点滅します。オレンジの LED は転送モードを表示します。100Mbps モードでデータを転送している際に点灯します。この機能のオン/オフは、BIOS にて設定できます。



12. CD 入力 /AUX 入力コネクタの接続



AUX-IN コネクタは MPEG カードからの MPEG オーディオケーブルをオンボードサウンドに接続するのに使用します。

CD-IN コネクタは CDROM または DVD ドライブからの CD オーディオケーブルをオンボードサウンドに接続するのに使用します。

コネクタ	1 番ピン	2 番ピン	3 番ピン	4 番ピン
AUX-IN	左	GND	GND	右
CD-IN	左	GND	GND	右

13. LAN ドライバのインストール

下記の手順に従って、WindowsME/98、Windows NT 、Windows2000 及び Windows XP において、RealTek RTL8100 PCI ファーストイーサーネットアダプタの LAN ドライバをインストールすることができます。

Win98/Win98 SE/Windows2000/Windows ME/Windows XP 環境でのドライバのインストール手順 ：

1.インストールするドライバを尋ねられたなら、「ハードウェア製造元の提供するディスクを使用」を選びます。

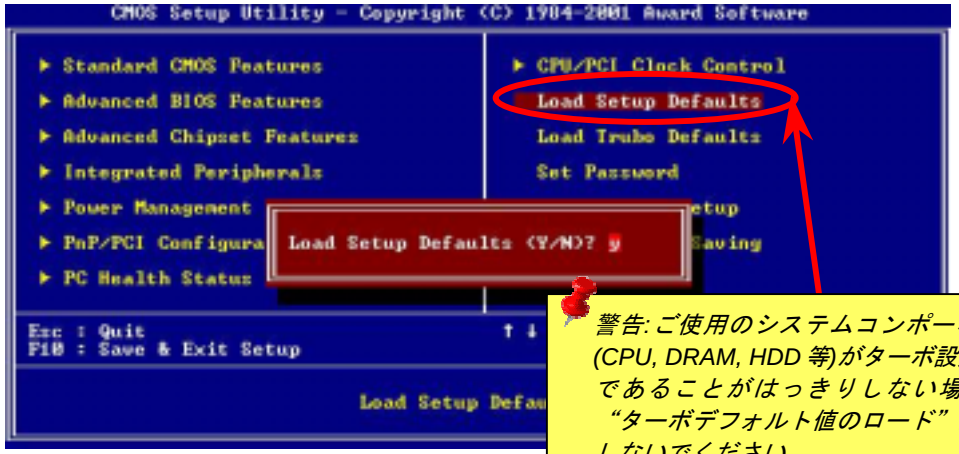
2.セットアップ用ファイルのフルパス名を指定します。
[CD-ROM]:Driver\LAN\RTL8100\Windows\WIN98 (Windows 98/98 SE 用) または
[CD-ROM]:Driver\LAN\RTL8100\Windows\WIN2000 (Windows 2000 用) または
[CD-ROM]: Driver\LAN\RTL8100\Windows\WINME (Windows ME 用) または
[CD-ROM]: Driver\LAN\RTL8100\Windows\WinXP (Windows XP 用)です。

3.指示に従ってシステムディスク(Win98/Win98 SE/Windows2000/Windows ME) を使用し、セットアップを完了させます。

4. Win98/Win98 SE/Windows2000/Windows ME が残りのインストールを自動的に行います。インストール後、システムを再起動させます。

14. 電源投入及びBIOS セットアップのロード

ジャンパー設定およびケーブル接続が正しく行われたら、システムに電源を入れて、POST (電源投入時の自己診断) 実行中に<Del>キーを押すと、BIOS セットアップに入ります。最適なパフォーマンスを実現するには"Load Setup Defaults（デフォルト値のロード）"を選択してください。



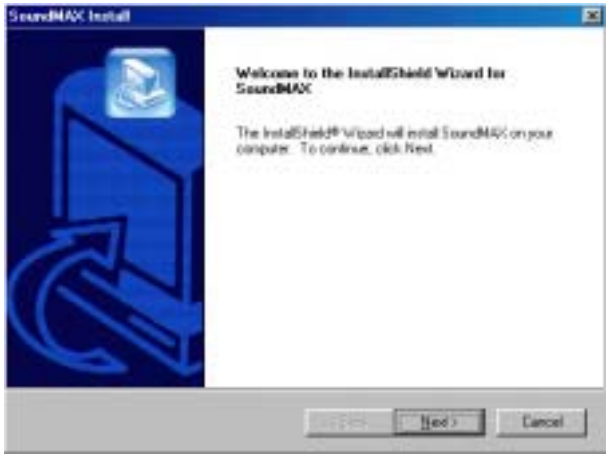
警告: ご使用のシステムコンポーネント (CPU, DRAM, HDD 等)がターボ設定可能であることがはっきりしない場合は、"ターボデフォルト値のロード" は使用しないでください。

15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートラン機能を利用できます。ユーティリティとドライバを指定し、モデル名を選んでください。

16. オンボードサウンドドライバのインストール

このマザーボードには AD1981 AC97 サウンドコデックが装備されています。オーディオドライバは Bonus Pack CD ディスクオートランメニューから見つけられます。



17. Windows 環境における BIOS のアップグレード

NEW!

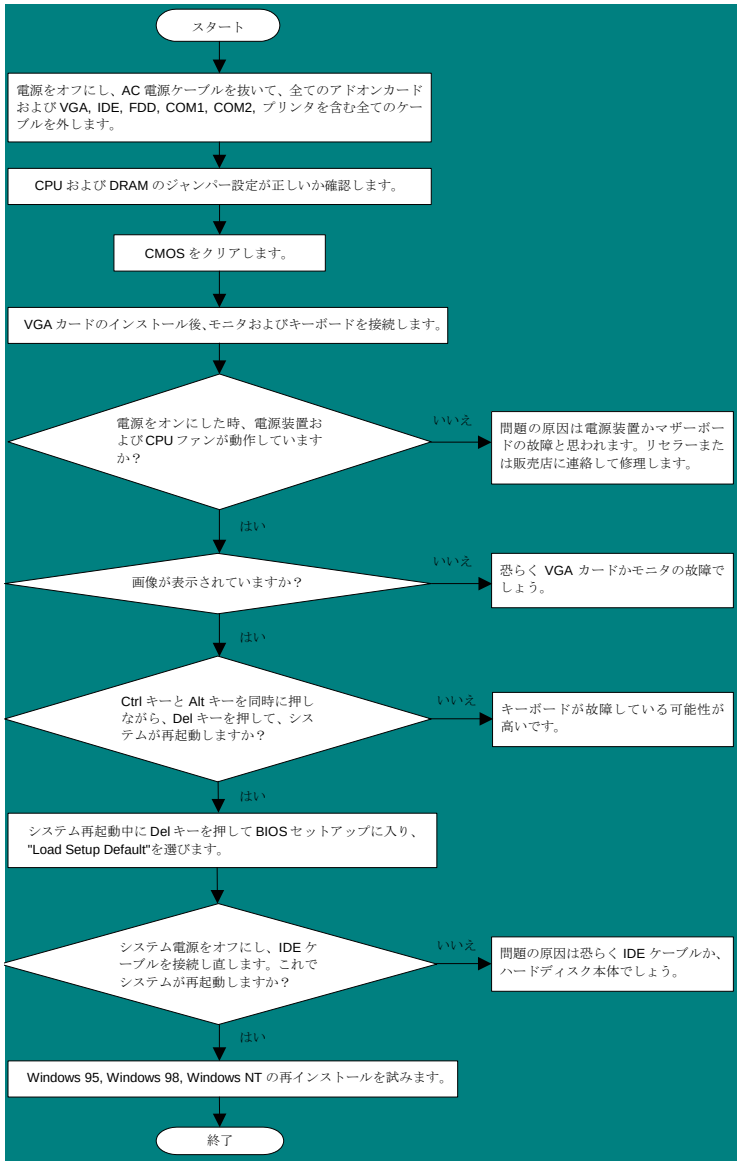
下記の手順に従って、EZWinFlash で BIOS のアップグレードを完了してください。アップグレードを開始する前に、必ず全てのアプリケーションを終了してください。

1. AOpen のウェッブサイト(http://www.aopen.com)から最新の BIOS パッケージzipファイルをダウンロードします。
2. Windows 環境において、WinZip (http://www.winzip.com)でダウンロードされた BIOS パッケージ(例えば、WMX4LR102.ZIP)を解凍します。
3. 解凍したファイルをフォルダに保存します。たとえば、WMX4GR102.EXE 及び WMX4GR102.BIN です。
4. WMX4GR102.EXE をダブルクリックしたら、EZWinFlash はご使用のマザーボードのモデルネーム及び BIOS バージョンを検出します。BIOS が間違ったら、フラッシュ操作を続行することはできません。
5. 主要メニューからお好みの言語を選択し、[フラッシュ開始]をクリックしたら BIOS アップグレード作業が開始します。
6. EZWinFlash はアップグレード作業を自動的に完了します。完了後、ポップアップダイアログボックスからコンピュータを再起動するよう聞いてきますので、[はい]をクリックして Windows を再起動します。
7. POST 時に<Del>キーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、"Save & Exit Setup（保存して終了）します。これで完了です。

警告 :新しいBIOS のアップグレードにより、フラッシュ後に前の BIOS の内容は完全に置き換えられます。前の BIOS 設定及び Win95/Win98 プラグアンドプレイ情報は更新されますので、システムを再構築する必要があります。

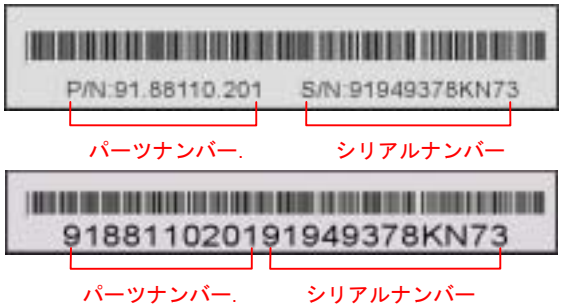
トラブルシューティング

システム起動時に何らかの問題が生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



パーツナンバー及びシリアルナンバー

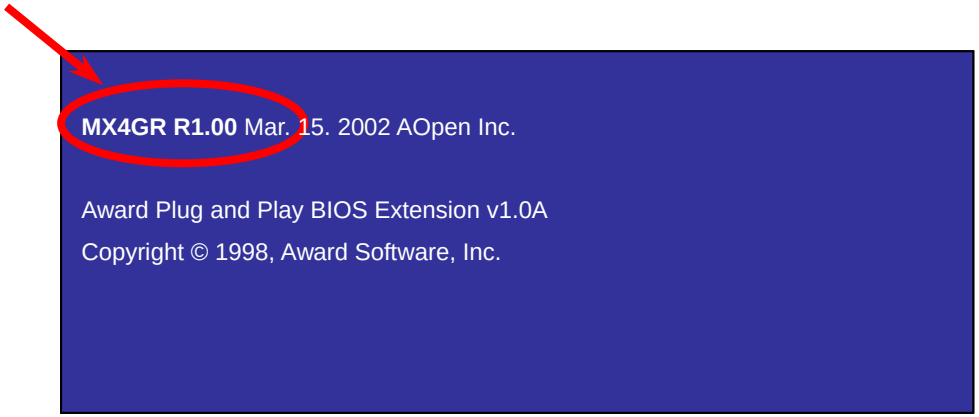
パーツナンバー及びシリアルナンバーがバーコードラベルに印刷されています。バーコードラベルは包装の外側、PCI スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下は一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツナンバーで、S/N: 91949378KN73 がシリアルナンバーです。

モデルネーム及びBIOS バージョン

モデルネーム及び BIOS バージョンがシステム起動時の画面（POST 画面)の左上に表示されます。以下は一例です。



MX4GRがマザーボードのモデルネームで、R1.00 がBIOSバージョンです。

テクニカルサポート

お客様各位へ
この度は、AOpen 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら、毎日世界中から E メール及び電話での問い合わせが無数であり、全ての方に遅れずにサービスをご提供いたすことは極めて困難でございます。弊社にご連絡になる前に、まず下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供していただけます。

皆様のご理解に深く感謝を申し上げます!

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域
AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ
AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Fax: 31-73-645-9604

中国
艾尔鹏国际上海(股)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

ドイツ
AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2102-157700
Fax: 49-2102-157799

アメリカ
AOpen America Inc.
Tel: 1-408-922-2100
Fax: 1-408-922-2935

日本
AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ウェブサイト: www.aopen.com

電子メール ： 下記の連絡フォームをご利用になり、メールでご連絡ください。

英語	http://www.aopen.com/tech/contact/techusa.htm
日本語	http://www.aopen.co.jp/tech/contact/techjp.htm
中国語	http://www.aopen.com.tw/tech/contact/techtw.htm
ドイツ語	http://www.aopencom.de/tech/contact/techde.htm
フランス語	http://france.aopen.com/tech/contact/techfr.htm
簡体字中国語	http://www.aopen.com.cn/tech/contact/techcn.htm

1 オンラインマニュアル: マニュアルを注意深くお読みになり、ジャンパー設定及びインストール手順が正しく行われることを確認してください。
http://www.aopen.co.jp/tech/download/manual/default.htm

2 テストレポート: 自作パソコンのための互換性テストレポートより、マザーボード、アドンカード及びデバイスを選択するようお勧めいたします。
http://www.aopen.co.jp/tech/report/default.htm

3 FAQ: 最新の FAQ (よく尋ねられた質問) よりトラブルの解決法が発見するかもしれません。
http://www.aopen.co.jp/tech/faq/default.htm

4 ソフトウエアのダウンロード: アップデートされた最新 BIOS、ユーティリティ及びドライバをチェックして取得してください。
http://www.aopen.co.jp/tech/download/default.htm

5 ニュースグループ: お抱えになっているトラブルに関して、弊社のエンジニアもしくはパワーユーザーよりその解決法をニュースグループに掲載されているかもしれません。
http://www.aopen.co.jp/tech/newsgrp/default.htm

6 販売店及びリセラーへのご連絡: 弊社は当社製品をリセラー及び SI を経由して販売しております。彼らはお客様のパソコン状況をよく知り、弊社より効率的にトラブルを解決することができます。彼らのサービス次第、お客様が彼らに別の製品を購入する意思が大きく左右されます。

7 弊社へのご連絡: 弊社までご連絡になる前に、システムに関する詳細情報及びエラー状況を確認して、必要に応じてご提供を求められる場合もあります。パーツナンバー、シリアルナンバー及び BIOS バージョンなどの情報提供も非常に役に立ちます。